

飛騨市教育委員会の権限に属する事務の管理及び 執行の状況の点検及び評価の結果

- 1 点検及び評価を行った期日 平成29年8月31日(木)
- 2 点検及び評価の会議を行った場所 飛騨市役所 西庁舎3階 会議室1
- 3 点検及び評価を行った会議 平成29年第7回教育委員会

4 点検及び評価を行った会議に出席した者

(飛騨市教育委員会)

教育長 山本 幸一

委員 田口 力三

委員 泉 正樹

委員 吉木 直美

委員 松井 芳嗣

(説明のため出席した飛騨市教育委員会事務局職員)

事務局長 清水 貢

教育総務課長 谷尻 孝之

学校教育課長 下出 尚弘

生涯学習課長 岸懸 貴則

文化振興課長 大庭 久幸

5 点検及び評価の対象事務

飛騨市教育委員会の権限に属する平成28年度の事務

6 点検及び評価の方法

飛騨市教育委員会事務点検評価実施要領(平成21年飛騨市教育委員会訓令第1号)第3条の規定により、飛騨市教育委員会事務局各課が第1次評価した「飛騨市教育委員会事務点検評価資料」により、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第26条第2項の規定に基づく飛騨市教育委員会事務点検評価委員会を開催し、教育に関し学識経験を有する者からの意見聴取を行った後、平成29年8月31日開催の平成29年第7回教育委員会において、平成28年度の飛騨市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価を行った。

7 飛騨市教育委員会が飛騨市教育委員会事務点検評価委員会に意見聴取を行った

期日及び場所

第1回 期日 平成29年8月7日(月)

場所 飛騨市古川町公民館 2階研修室

第2回 期日 平成29年8月22日(火)

場所 飛騨市古川町公民館 2階研修室

8 飛騨市教育委員会事務点検評価委員会の飛騨市教育委員会に対する意見

飛騨市教育委員会の権限の属する平成28年度事務の点検及び評価については、飛騨市教育委員会事務局各課が行った第1次評価のとおりであることを認める。

9 点検及び評価の結果

別紙「平成29年飛騨市教育委員会事務点検評価結果」のとおり

平成 2 9 年飛騨市教育委員会事務点検評価結果

平成 2 8 年度教育委員会の活動状況 点検評価シート

平成 2 8 年度事務事業の執行状況 点検評価シート

飛騨市教育委員会

点 検 評 価 一 覧 表

担 当 課	事 務 事 業 名	評 価	事 業 番 号
教 育 総 務 課	1 教育委員会活動、教育委員会事務点検評価委員会活動	A	1
	2 小中学校体育館非構造部材耐震補強事業	A	2
	3 飛騨市育英基金貸付事業	A	3
	4 スクールバス運営事業	A	4
	5 学校給食事業	A	5
学 校 教 育 課	6 「ふるさと飛騨市」改訂版作成事業	A	6
	7 ふるさと教育推進事業	A	7
	8 教職員研修事業	A	8
	9 教科専門性・学力向上事業（学力向上プロジェクト事業）	A	9
	10 部活動各種大会補助金	A	10
生 涯 学 習 課	11 生涯学習推進事業	A	11
	12 公民館管理運営事業	A	12
	13 公民館講座等開催事業	A	13
	14 家庭教育学級	A	14
	15 青少年育成推進事業	A	15
	16 高齢者学級開催事業	A	16
	17 スポーツ推進事業	A	17
	18 体育施設管理運営事業	A	18

担 当 課	事 務 事 業 名	評 価	事業番号
文 化 振 興 課	19 文化芸術事業の振興	A	1 9
	20 図書館機能の充実事業	A	2 0
	21 ユネスコ無形文化財登録推進事業	A	2 1
	22 「君の名は。」企画展開催事業	A	2 2

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 1)

飛騨市教育委員会

項 目		実 績	成 果 ・ 課 題	1次 評価
教育委員会 会議の状況	会 議	【審議件数】 議案 48件、報告 6件 承認 12件、合計 66件	学校経営を始めとする教育全般(生涯学習・文化)について議論と審議を重ね、飛騨市の教育行政の資質向上に努めた。	A
	協議会	【開催回数】 10回 【主な内容】 ・飛騨市立中学校卒業生の進路先について ・全国学力・学習状況調査の結果について ・教育委員会予算の方針と主要事業について ・各種後援名義等の使用許可報告について	教育委員会会議としての議案以外の諸課題、報告案件について協議を重ね、市が目指す教育行政について、より良い方向付けを図ることができた。	
	事務点 検評価 委員会	【事務点検評価委員会の開催】 ・日時 平成28年8月9日、24日 2回開催 ・内容 教育委員会事務局が行った第1次評価に対する審議と意見聴取 【事務点検評価の最終評価】 ・平成28年8月30日開催、平成28年第8回教育委員会において最終評価 ・議会への報告 平成28年9月2日	教育委員会の事務事業の内容について点検、評価することで、問題点を見つけ出し改善することで、その結果を次年度の施策につなぐ取り組みとなった。	
調査活動の状況等		<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校の入学式、卒業式への参列 ・小中学校の学校訪問 ・小中学校の運動会、体育祭の参観 ・教育委員会委員研修の実施 	授業参観等の学校行事へ参加し、教育現場での児童生徒や教職員の課題等の実態を把握することで、教育委員会委員としての資質向上に努めた。	A

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 2)

飛騨市教育委員会・教育総務課

重点 施策	重点 目標	平成28年度の目標	担当課	平成28年度の実績・成果と課題		1次 評価
				実 績	成 果・課 題	
快適な教育環境の整備	学校施設の整備（小中学校整備事業）	<p>○小中学校体育館非構造部材耐震補強事業</p> <p>・各小中学校の体育館について、天井材や照明設備等の非構造部材の耐震化を図る。</p>	教育総務課	<p>〔H28決算額〕 7,241千円</p> <p>（耐震補強工事） 5,616千円</p> <p>○山之村小中学校体育館非構造部材耐震化工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガラス剥落飛散防止フィルム設置工事 ・照明設備改修工事 <p>（事業費設計） 1,625千円</p> <p>○古川地区小中学校体育館非構造部材耐震化設計委託</p> <p>○河合・宮川・神岡地区小中学校体育館非構造部材耐震化設計委託</p>	<p>・平成28年度では、手つかずの非構造部材耐震化について山之村小中学校の体育館の整備を実施。残りの小中学校については、設計業務を発注し概算費用を算出した。</p> <p>・平成30年度予算化(国庫補助)に向けての全体計画を策定し、事業を推進している。</p> <p>○非構造部材未耐震施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古川小学校体育館 ・古川西小学校体育館 ・河合小学校体育館 ・神岡小学校体育館 ・古川中学校体育館 ・神岡中学校体育館 <p>○概算全体事業費 203,000千円</p> <p>・宮川小学校体育館は建設時に対応済み</p>	A

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 3)

飛騨市教育委員会・教育総務課

重点 施策	重点 目標	平成28年度の目標	担当課	平成28年度の実績・成果と課題		1次 評価
				実 績	成 果・課 題	
地域が一体となった青少年健全育成の推進	将来を担う人材育成（飛騨市育英基金貸付事業）	<p>○飛騨市育英基金貸付事業</p> <p>・飛騨市の将来を支える若者が、財政的な心配なく、勉学に励む目的で設立された制度。</p>	教育総務課	<p>〔H28基金総額〕 349,189千円</p> <p>貸付総額 321,262千円 現 金 27,927千円 H28 貸付額(64件) 37,080千円 H28 償還額(151件) 46,269千円</p> <p>貸付件数 64 件の内、新規案件 24 件</p>	<p>・奨学資金返済時における負担が全国的に社会問題になりつつあることを踏まえ、平成 29 年度貸付分から低所得者向けの給付型制度を新設した。</p> <p>・本制度を実施するにあたり、今後も安定した基金運営が行われるよう、今後 10 年間の所要額を目途に、原資の積み増し等の検討を行う必要がある。</p>	A

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 4)

飛騨市教育委員会・教育総務課

重点 施策	重点 目標	平成28年度の目標	担当課	平成28年度の実績・成果と課題		1次 評価
				実績	成果・課題	
快適な教育環境の整備	スクールのバスの整備運営（スクールバス運営事業）	<p>○スクールバス運営事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学生における登下校の運送のほか、フリーバスとして市民にも利用されている。 ・老朽化したスクールバスを更新基準（購入後15年以上経過・走行距離20万km以上）に従い、更新購入し、安全・安心な通学手段の確保を図っている。 	教育総務課	<p>〔H28決算額〕 95,918千円</p> <p>○スクールバス運行委託 76,727千円</p> <p>○フリーバス運営事業 ・利用回数34回 利用人数769人</p> <p>○車両購入費 17,280千円 ・29人乗りマイクロバス 2台 古川5号車(畦畑線) 神岡1号車(麻生野線)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールバス運営事業は、単に小中学生の登下校の運送や学校行事、部活動の運送だけではなく、車両が空いた時間にはフリーバスとして市民にも利用されている。計画的に車両更新を図り、平成28年度において29人乗りマイクロバス2台を更新した。 ・現在23台（うちタクシー5台）あるスクールバス車両については、車両更新計画に基づいた更新を行うこととしている。また、フリーバスの運行についてもフレキシブルに対応し、利便性の確保に努めた。 ・平成29年度より、従来の夏休み中のプールバスのほか、各学校で定める補完学習日における通学費負担を軽減するため、新たに5日間を限度にスクールバスを運行することとした。 	A

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 5)

飛騨市教育委員会・教育総務課

重点 施策	重点 目標	平成28年度の目標	担当課	平成28年度の実績・成果と課題		1次 評価
				実績	成果・課題	
地域の食文化を活かした安全な学校給食の提供	安全・安心な学校給食の提供 学校給食施設の整備運営	○学校給食事業 ・安全・安心な学校給食の提供 ・学校給食施設の整備運営	教育総務課	○安全・安心な学校給食の提供 142,205千円 (主な内訳) ・賃金(7人)・燃料費・光熱水費 ・古川給食センター負担金 (給食延べ食数) 神岡給食センター 113,887食 河合給食センター 15,928食 山之村小中学校調理場 5,437食 (参考) 古川国府給食センター 338,184食 (古川町部分のみ)	・食中毒等の大きな事故が無く、安心安全でおいしい給食を提供した。アレルギー対応食の提供も行っており、安定して学校給食を提供するためには調理員の確保が重要であるが、近年、アレルギーを持つ子どもが増えつつあり、その対応に苦慮している。	A
				○給食施設の整備運営 1,049千円 修繕料 844千円 備品購入費 205千円 ○給食費特別会計 34,834千円	・日々のメンテナンスとともに、早めの修繕や部品交換により衛生上及び作業上の安全に努めているが、厨房機器の計画的な更新を行うため、優先順位を踏まえた更新計画を策定する必要がある。 ・調味料や食材の値上がりにより、限られた予算内での給食提供は厳しいものがあるが、メニューの工夫や調理方法の改善等の努力により、安全・安心な学校給食の提供が行われた。 ・非常に手間のかかるアレルギー食についても、きめ細かく対応している。 (H29年度神岡給食12人 河合2人)	

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 6)

飛騨市教育委員会・学校教育課

重点 施策	重点 目標	平成28年度の目標	担当課	平成28年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果・課 題	
ふるさとを愛する豊かな心づくり・健やかな身体づくりの推進	ふるさとを愛する心の育成	<p>○「ふるさと飛騨市」改訂版作成事業</p> <p>現行の小学校社会科資料「ふるさと飛騨市」を発刊し7年が経過し、内容の見直しを機に「ふるさとの宝探し、光探し、自慢づくり」の観点から、小学校のみならず中・高生、一般市民にも親しく読むことができる内容・構成に改訂編集するため、平成28年度飛騨市学習資料作成検討委員会を設置し、改訂内容について検討を行う。</p>	学校教育課	<p>〔H28決算額〕 15千円</p> <p>「ふるさと飛騨市」改訂版作成のため、委員12名による作成検討委員会を4回開催した。</p> <p>○4回の委員会の実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 8/31 改訂版の編集方針と編集概要等の確認 ・第2回 9/30 目次項目の配列についての検討 *小学校社会科教科書の内容を踏まえ ・第3回 11/1 目次細案の作成 ・第4回 12/1 目次細案の最終確認 次年度の編集作業計画 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の歴史や民俗文化に造詣の深い学識経験者を委員に選任したことで、幅広い視点からの見直し作業ができた。 ・小学校社会科教科書の目次配列をもとに目次細案を立てたことで、教師や児童が活用しやすい構成となった。 ・平成29年度は飛騨市学習資料作成検討委員会委員12名により、原稿の執筆・資料収集等を行い、平成29年度末に「ふるさと飛騨市」改訂版を発刊する予定である。 	A

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 7)

飛騨市教育委員会・学校教育課

重点 施策	重点 目標	平成28年度の目標	担当課	平成28年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
ふるさとを愛する豊かな心づくり・健やかな身体づくりの推進	ふるさとを愛する心の育成	<p>○ふるさと教育事業</p> <p>子ども達の地域づくりへの参加を通じ、そこで生きる人々の姿、考え方を学ぶ活動を実現するため、従来の特色ある学校教育振興事業を深化させて地域に根ざした「ふるさと教育」を推進する。</p>	学校教育課	<p>[H28決算額] 4,405千円</p> <p>(各学校の活動実施内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古川小 古川の伝統・文化を知る活動 町探検、米づくり体験 ・古川西小 郷土料理体験活動、黒内果樹園体験活動、ふるさと発見遠足 ・河合小 歌舞伎・匠太鼓体験活動、地域に伝わる盆踊り学習 ・宮川小 ナチュラル宮川宿泊体験(そば打ち・郷土料理体験等)、古大尽体験 ・神岡小 春慶塗・木のベンチづくり、太子踊り体験、レールマウンテンバイク体験 ・古川中 市内企業訪問研修、地域社会人職業講話、ふるさと版画作品 ・神岡中 職場体験学習、カミカンテ見学、ふるさと合同版画制作 ・山之村小中 船津座公演(山っこ獅子・きつねつり)、寒干し大根作り、山菜採り・加工・販売 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度より企画課所管から学校教育課所管に移行したことで、学校指導現場と直結し、より深化したふるさと学習活動を行うことができた。 ・活動に必要な事業費を節別執行とし、学校別管理から学校教育課管理に移行したことで予算の学校間における過不足の調整が可能となり、きめ細かい事業費の充達が可能となった。 ・各校の事業計画に基づき、予算の範囲内で基準配分し、市内小中学校8校の地域に根ざした特色あるふるさと学習活動を支援するとともに、その取組が保護者・市民に広く理解されるよう情報発信に努める。 	A

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 8)

飛騨市教育委員会・学校教育課

重点 施策	重点 目標	平成28年度の目標	担当課	平成28年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果・課 題	
確かな学力をつける特色ある学校づくりの推進	教職員の指導力向上	○教職員研修事業 子どもたち一人一人の成長を支えて可能性を伸ばし、学力を向上させる視点を大切にしながら、教職員研修を充実し、教職員の資質・指導力の向上を図る。	学校教育課	〔H28決算額〕 1,707千円	<ul style="list-style-type: none"> ・教員だけでなく児童生徒支援員、学校司書、校務員など児童生徒の学習と学校教育環境を支えるあらゆる職員が研修を積むことができたことで、総合的に学校教育力の向上に繋がり、自校の学力向上の結果にも結びついている。 ・今後、次期学習指導要領の全面実施（小学校H32、中学校H33）を踏まえ、児童生徒の主体的な学びにつながる体験学習の充実を図りたい。具体的には、小学生高学年を対象に、退職理科教員を講師に、市内の自然資源を活用したフィールドワーク学習を実施する。また、中学生を対象に、ALT（外国語指導助手）を活用して、ふるさとのよさや魅力等を英語でプレゼンテーションする作品づくりに取り組む。 	A
				教職員の指導力や様々な教育課題に対応する力を高めるため、専門講師を招き研修会を12回開催。 （教員、学校司書、児童生徒支援員対象） ①第1回指導力向上講座 5/24 12名 ②第2回指導力向上講座 6/ 1 20名 ③第3回指導力向上講座 7/ 4 13名 ④第4回指導力向上講座 10/14 23名 ⑤夏季講座(学級経営) 8/ 3 14名 ⑥夏季講座(発達障がい) 8/ 3 15名 ⑦夏季講座(情報教育) 8/ 4 8名 ⑧夏季講座(防災教育) 8/ 4 11名 ⑨教育実践研究論文講座 8/ 5 12名 ⑩児童生徒支援員研修 6/17・20 20名 ⑪第1回学校司書研修 6/30 6名 ⑫第2回学校司書研修 9/28 7名 参加者総数 161名		

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 9)

飛騨市教育委員会・学校教育課

重点 施策	重点 目標	平成28年度の目標	担当課	平成28年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果・課 題	
確かな学力をつける特色ある学校づくりの推進	教職員の指導力向上	<p>○教科専門性・学力向上事業(学力向上プロジェクト事業)</p> <p>市教育委員会より指定された指導方法改善研究校が、市の学習習慣確立指針を踏まえ、全国学力・学習状況調査(国)および標準学力調査(市)の結果分析を基に、指導方法改善の研究を推進し、実践を公表会で発表する。公表会へは市内小中学校の全教員が参加し、各校における各教科の指導計画と指導方法の改善につなげる。また、小中合同の教科研究会を通して、小学校から教科専門性の向上を図り、児童生徒の基礎学力の定着に資する。</p>	学校教育課	<p>[H28決算額] 2,241千円</p> <p>○教科専門性・学力向上事業 300千円</p> <p>・平成28年度は、山之村小中学校を研究校に指定し、研究主題に基づいた授業実践を積み重ね、その成果について10月4日の公表会で明らかにした。</p> <p>○飛騨市標準学力調査 1,941千円</p> <p>・実施日 平成29年1月17日～20日</p> <p>・対象者,調査内容 小学校 1,123人(国語/算数/理科 ※1・2年生は国語/算数のみ) 中学校 722人(国語/数学/理科)</p>	<p>・山之村小中学校を研究校に指定し、実践公表会・市内小中学校全教員の参加による小中合同教科部会を実施したことで、教科の専門性を高め、「個に徹する指導」の推進を図ることができた。</p> <p>・飛騨市標準学力調査の経年評価の分析を基に、指導方法改善の研究を推進することができた。</p> <p>・本事業を継続して実施する中で、保育園での小学校入学を見据えた教育・支援の重要性も明らかになってきた。今後はさらに、保小の連携をより強化し、飛騨市の保小中一貫教育を目指したい。</p> <p>・平成29年度は、神岡小学校を市の指導方法改善研究校に指定し、保小中でつきたい力の系統性を明らかにした指導の工夫改善等を図る。10月11日に公表会を開催する予定である。</p>	A

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 10)

飛騨市教育委員会・学校教育課

重点 施策	重点 目標	平成28年度の目標	担当課	平成28年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
ふるさとを愛する豊かな心づくり・健やかな身体づくりの推進	ふるさとを愛する心と体の育成	<p>○部活動各種大会補助金</p> <p>各部活動で予選大会等を勝ち抜き、上位大会（岐阜県大会以上）へ出場する際の交通費や宿泊費を補助することで、大会出場にかかる保護者や個人の負担を軽減し、出場選手が不安なく練習・試合に取り組める環境を整える。</p>	学校教育課	<p>〔H28決算額〕 1,241千円</p> <p>岐阜県大会以上の出場補助 出場選手及び引率者1名分の交通費（バス借上料、道路通行料等）、宿泊費、傷害保険料、大会参加料の一部を補助する。（県大会及び東海大会出場：補助率1/2以内、全国大会出場：補助率8/10以内）</p> <p>○補助対象</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県大会出場 15部活動 ・東海大会出場 4部活動 古川中 陸上 古川中 柔道 神岡中 陸上 神岡中 吹奏楽 ・全国大会出場 4部活動 古川中 柔道 古川中 スキー 神岡中 スキー 2 	<ul style="list-style-type: none"> ・チーム競技と個人競技では、出場のための交通手段に若干の差はあるものの例年以上の成績を納めたことで相対的に負担の軽減に繋がっている。 ・部活動においては、技術向上やチーム強化のため、練習試合等の遠征や各協会・連盟が主催する大会等へ出場する機会も多くあり、これらの費用については現行制度では補助対象となっていないため保護者の負担が大きいという声が聞かれた。このため、平成29年度においては、上位大会（岐阜県大会以上）以外の大会出場や遠征実施の際にも、補助の対象を拡充し、保護者の費用負担を軽減するとともに各部活動の活性化を図る。具体的には、上位大会（岐阜県大会以上）以外の大会出場及び遠征実施補助出場選手及び引率者1名分の交通費（バス借上料、道路通行料等）の一部（補助率1/2以内）を補助する。※1部活動につき年間2回まで 	A

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 11)

飛騨市教育委員会・生涯学習課

重点 施策	重点 目標	平成28年度の目標	担当課	平成28年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
社会教育関係団体と人材の育成	社会教育団体の連携・生涯学習活動を支える人材の育成	<p>○社会教育委員 生涯学習を推進するため、社会教育委員を委嘱し、社会教育に関する提言や地域の社会教育活動への助言、指導を行ってもらう。</p> <p>○生涯学習推進会議 社会教育委員会を中心に子育て、青少年育成、文化芸術振興、生涯スポーツ振興の4部門で部会を組織して関係団体の横の連携を図り、情報共有等により生涯学習事業の推進を図る。</p>	生涯学習課	<p>〔H28決算額〕 619千円</p> <p>○社会教育委員委嘱事業 ・社会教育委員 10名 ・社会教育委員の会 年4回開催 ・10/20～21 全国公民館研究集会 兼 東海北陸公民館大会 兼 岐阜県社会教育推進大会 兼 飛騨地区社会教育推進大会 会場：高山市</p> <p>○生涯学習推進大会 ・部会の開催（延17回 開催） 地域ぐるみの青少年健全育成部会 子育てネットワーク部会 スポーツ振興部会 文化・芸術振興部会 ・生涯学習推進大会 3/11 古川町公民館 参加者：153名 各部会活動報告 ノルディックウオークの紹介 講演会（堀内裕一朗氏）</p>	<p>・社会教育委員活動においては、本年度全国公民館研究集会が高山市で開催され、隣接市として飛騨市も協力した。</p> <p>・生涯学習推進大会の各部会において会議を開催し、関係団体間の情報共有とともに啓発活動を実施した。</p> <p>・生涯学習推進大会を開催し、市民の皆さんに各部会の活動を紹介し、社会教育の重要性を訴えた。</p> <p>・推進大会において前年度より参加者(550名)が大幅に減少したが、講演者の違いによるものと認識しており、大会そのものの参加者に大きな変動はないと捉えている。</p> <p>・推進大会は、社会教育委員の数少ない発表の場であるので、今後も動員を図りながら継続していきたい。</p>	A

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 12)

飛騨市教育委員会・生涯学習課

重点 施策	重点 目標	平成28年度の目標	担当課	平成28年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
生涯学習環境の充実	市営公民館、コミュニティ施設の管理運営	<p>○公民館管理運営事業</p> <p>市民の「学び・集い・つなぐ」場所となる生涯学習の拠点となる公民館を維持・運営することで、個人や任意団体の生涯学習活動の充実を支援するとともに、必要なニーズに基づき、既存公民館の整備を進める。</p>	生涯学習課	<p>[H28決算額] 52,851千円</p> <p>○公民館運営事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 古川町公民館、千代の松原公民館、河合町公民館、宮川町公民館、神岡町公民館の管理運営を行った。 大無雁、西忍、坂下、宮川町高齢者コミュニティセンターを指定管理制度により地元で管理運営を行った。(指定管理料0円) <p>○公民館改修工事等（主な工事）</p> <ul style="list-style-type: none"> 神岡町公民館下水道接続工事 4,590千円 同公民館高圧ケーブル更新工事 1,264千円 同公民館1階トイレ改修工事 4,320千円 	<ul style="list-style-type: none"> 市民の憩いの場となっている公民館及びコミュニティセンターを適正に管理運営を行った。 コミュニティ施設については、地域の自主性を高めるために施設の地元移管を進める必要がある。 施設の老朽化等に伴う工事を実施した。 老朽化が著しい施設も多いため、利用状況等を含めた現状把握に努め、必要性の高いものから順次改修整備を行なっていく。 	A

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 13)

飛騨市教育委員会・生涯学習課

重点 施策	重点 目標	平成28年度の目標	担当課	平成28年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
ライフステージに応じた生涯学習の推進	市民のニーズに応える学習機会の提供	○公民館講座等開催事業 公民館講座、歴史講座等、市民ニーズに答える学習機会を提供し、ライフステージにあわせた生涯学習を推進する。最終的には、誰もが「学び」誰もが「教える」自主自立型の学びの場を設け、学びを支える人材を育てる自主講座へと繋げていく。	生涯学習課	[H28決算額] 153千円		A
				公民館講座 14件 参加者 570名 歴史講座 2件 参加者 136名 自主講座 49件 参加者 475名	<ul style="list-style-type: none"> 古川町公民館では、自主講座を中心に事業を進め、昨年並みの実績で推移した。 神岡町公民館では、夏休みの子供向けに新たな公民館講座を開催し、相応の参加を得ることができた。 公民館講座に対する市民ニーズを捉えるため、参加者中心にアンケートを実施し、求められている講座の開催に繋げる。さらに、講座の自主性を高めるため公民館講座から自主講座への転換を推進する。 神岡町公民館では商工会議所の移転により使用可能な部屋が増え、公民館活動がより幅広く推進できることになったため、公民館講座の拡充を図る。 	

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 14)

飛騨市教育委員会・生涯学習課

重点 施策	重点 目標	平成28年度の目標	担当課	平成28年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果・課 題	
親の育ちを応援し地域のつながりをつくる家庭教育の推進	家庭教育力の向上	○家庭教育推進事業 家庭が本来果たすべき役割を改めて見つめ直す機会となるよう、小中学生の保護者が子どもの発達段階に応じて、家庭教育の意義と役割を保護者自身が学習し、親子がふれあう場を提供する。	生涯学習課	[H28決算額] 2,007千円	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児学級については、子育て支援センターの協力のもと事業を実施し、利用者による人気も年々高まっているため、昨年度を超える参加者があった。幼児学級も予定どおり各保育園で開催された。 ・各校に家庭教育学級担当職員、各PTAに家庭教育学級担当を置き、計画的・継続的な活動が展開された。 ・地域ごとに特色あるテーマを取上げ、親子のふれあい活動とともに、子どもたちがふるさとの素晴らしさを再確認する機会となった。 ・各学級での縦の連携が弱いまま事業が進められている。乳・保・小・中の連携による効果を向上させるために共通認識を持って事業を進めることとし、一堂に会した協議の場を設ける。 	A
		○乳幼児・幼児学級開催事業 市内に在住する乳幼児、幼児の親子を対象に、子どもの成長にあわせた、段階的な親の学びの場や親子の交流の場を提供し、親が主体となった学級の運営を通じて、親の学びや成長につなげる。		<ul style="list-style-type: none"> ○家庭教育学級 <ul style="list-style-type: none"> ・全小中学校で実施 実施回数 62回 ○乳幼児学級 <ul style="list-style-type: none"> ・各町子育て支援センターで実施 登録組数 233組 実施回数 70回 参加者数 延べ2,330名 ○幼児学級 <ul style="list-style-type: none"> ・園児対象：各園で実施 実施回数 18回 合同講演会 1回 		

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 15)

飛騨市教育委員会・生涯学習課

重点 施策	重点 目標	平成28年度の目標	担当課	平成28年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
地域が一体となった青少年健全育成の推進	青少年の健全育成、将来を担う人材育成、子ども会活動の活性化	<p>○青少年育成推進員委嘱事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭・学校・地域の連携強化を推進員によって進め、三者がお互いに手を取り合い地域の青少年育成活動を推進する。 <p>○飛騨市成人式開催事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 「おとなになったことを自覚し、みずから生き抜こうとする青年を祝いはげます」ことを趣旨に実施する。 <p>○子ども会育成連絡協議会補助事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域における子ども同志の縦の繋がりを促進する子ども会を支援する。 	生涯学習課	<p>[H28決算額] 2,045千円</p> <p>○青少年育成推進員委嘱事業</p> <p>推進員(22名)を中心に地域連携のための青少年育成連絡協議会を組織し、各町単位の部会で育成活動を実施した。</p> <p>○平成29年飛騨市成人式</p> <p>開催日：平成29年1月3日 (古川会場) 出席者 164名 (神岡会場) 出席者 71名 合計 235名</p> <p>○子ども会育成連絡協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> 子ども会員数 1,746名 古川町 1,247名 河合町 88名 宮川町 32名 神岡町 379名 各町単位の活動 合同キャンプの実施(古川町) ふれあい広場開催(河合町、宮川町) 合同球技大会の実施(神岡町) 	<p>○青少年育成推進員活動事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 各地域(4部会)において、推進員を中心に青少年の健全育成に向けて関係組織等と共通認識を持ち、連携を取りながら事業を進めることができた。 神岡部会では、夜間合同パトロールの実施復活及びはじめて神岡飛騨獅子まつりにて青少年育成啓発活動を実施した。 <p>○飛騨市成人式</p> <ul style="list-style-type: none"> 河合、宮川、古川を一会場で実施し、古川、神岡の二会場実施とした。市長参加を軸に会場時間をずらして実施したが、参加者からの要望もあり、次年度、実施方法を見直す必要がある。 <p>○子ども会育成連絡協議会補助事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 子ども会育成連絡協議会を通じて、単位子ども会や支部活動を支援した。 子どもの減少により運営が厳しくなっている単位子ども会に対して存続に向けての支援が必要となっている。 	A

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 16)

飛騨市教育委員会・生涯学習課

重点 施策	重点 目標	平成28年度の目標	担当課	平成28年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果・課 題	
ライフステージに応じた生涯学習の推進	高齢者の学習機会の提供	<p>○高齢者学級開催事業</p> <p>高齢者を対象に、ふれ合いや学ぶ喜びを大切にし、ふさわしい社会的能力を高める場として高齢者学級を開催する。</p>	生涯学習課	<p>[H28決算額] 222千円</p> <p>○高齢者学級 延べ55回開催 延べ参加者1,865名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寿大学（古川町） 登録者108名 ・シルバー学級（神岡町） 登録者138名 ・河合町、宮川町は、それぞれ 春と秋に年2回開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の引きこもり防止や生きがいづくりを目的とした高齢者学級を開催し、学びの場を提供することで、高齢者も地域の一員であることを再認識していただき、地域参加や地域貢献への意識高揚を図った。 ・高齢者学級の参加者も年々増えていることから、より参加しやすい学級とするために、アンケート等によりニーズの把握に努め、学級運営に反映していく。 	A

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 17)

飛騨市教育委員会・生涯学習課

重点 施策	重点 目標	平成 2 8 年度の目標	担当課	平成 2 8 年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果・課 題	
地域スポーツ活動の推進	スポーツ推進事業	<p>○スポーツ推進委員活動事業 市の体育事業を総合的にコーディネートするとともに、スポーツ活動指導者の発掘・養成に努め、資質の向上を図る。</p> <p>○スポーツ団体育成事業 市内のスポーツ団体に対し支援を行う。</p> <p>○スポーツ行事推進事業 市内のスポーツ行事を継続するため支援する。</p> <p>○ノルディックウォーキング普及事業 誰でも親しみやすいスポーツとして普及活動し、運動人口の底上げを図る。</p>	生涯学習課	<p>〔H 2 8 決算額〕 8, 2 9 9 千円</p> <p>○スポーツ推進委員 33 名を委嘱 ・研修会等への参加（5 回） ・地区スポーツ行事への協力（8 行事）</p> <p>○スポーツ団体育成事業 飛騨市体育協会、飛騨市スポーツ少年団、飛騨シュレー</p> <p>○スポーツ行事推進事業 剣道錬成会及び剣道アカデミー、F C 岐阜サッカー教室、山之村だいこんマラソン、古川町元旦マラソン、スポーツフェスティバル 他</p> <p>○ノルディックウォーキング普及事業 ノルディックウォーキング教室 5 回開催 競技用ポール購入 30 組</p>	<p>○スポーツ推進委員活動事業 ・各地区のスポーツ行事を支援し、推進することで、地域スポーツの活性化を図るとともに、研究会に積極的に参加して資質の向上に努めた。</p> <p>○スポーツ団体育成事業 ・市内のスポーツ団体を支援し、各種大会への参加や競技力の向上を図った。 ・高齢化等による指導者、会員不足が生じてきている。横のつながりを強化して課題に対応していく必要がある。</p> <p>○スポーツ行事推進事業 ・各地区における伝統的なスポーツ行事を支援することで、スポーツによる交流促進、地域活性化を図った。</p> <p>○ノルディックウォーキング普及事業 ・初年度としては、一定の成果があったと感じている。今後も継続して推進していく必要がある。</p>	A

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 18)

飛騨市教育委員会・生涯学習課

重点 施策	重点 目標	平成28年度の目標	担当課	平成28年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
地域スポーツ環境の充実	市有体育施設の管理運営	<p>○体育施設管理運営事業</p> <p>市民が真摯にスポーツに勤しめるよう、体育施設を適正に管理運営し、必要なニーズに応じて改修等を行うことで安心安全な体育施設を維持管理していく。</p>	生涯学習課	<p>[H28決算額] 52,169千円</p> <p>○体育施設管理事業 体育施設 18施設（指定管理1） グラウンド 21施設（指定管理2） の維持管理、運営を実施</p> <p>○体育施設改修工事（主な工事） ・サンスポーツランド古川野球場 スコアボード改修工事 1,137千円 ・古川トレーニングセンター 電気設備修繕工事 5,556千円</p>	<p>・市民のスポーツ活動の拠点となっている市有体育施設およびグラウンドについて適正に管理運営を行った。</p> <p>・施設の老朽化等に伴う工事を実施した。</p> <p>・老朽化が著しい施設も多いため、利用状況等を含めた現状把握に努め、必要性の高いものから順次改修整備を行なっていく。</p>	A

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 19)

飛騨市教育委員会・文化振興課

重点 施策	重点 目標	平成28年度の目標	担当課	平成28年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
心を豊かにする文化芸術の推進	文化や芸能にふれあう機会の提供	<p>○文化振興補助事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域における文化及び芸術の振興を図るため文化・芸術活動を行う団体の企画事業に補助を行う。 <p>○文化団体補助事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飛騨市美術展開催補助事業は、主管を文化協会に依頼し、感性豊かな作品を一般から広く募集し、公開することで文化振興を図ることを目的とする。 	生涯学習課（文化振興課）	<p>[H28決算額] 22,089千円</p> <p>○市民に文化や芸術にふれあう機会を提供するため、文化関係団体と連携し、市民主体で行われる文化活動や文化交流を支援した。郷土愛を育み文化活動の支援と地域文化を支える人材の育成を行い、市内における幅広い分野での芸術、文化活動の普及を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NP0文化村：14,500千円 延べ来場者：6,209名 ・船津座：4,725千円 延べ来場者：1,506名 ・その他5事業：2,864千円 延べ来場者：826名 <p>[H28決算額] 740千円</p> <p>○飛騨市美術展開催補助事業では、感性豊かで優れた作品を広く一般募集を行いし、公開することで市民の作品発表の場を提供し文化意識の浮揚を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出展数140点、来館者数532名 <p>○富山市との文化交流事業として「飛越交流展」を開催し、地域間交流により、豊かな文化・芸術への感性を育むことができた。開催期間：2月25日～3月20日 期間中の来館者：662名</p>	<p>○補助申請の企画イベントの中には当該地域の恒例行事となっているものがあり、内容が前年度のものと同じとなっている事業が見受けられ、結果として来場者の固定化が感じられる。新規来場者が増加し広がりを見せるような創意工夫を凝らし、幅広い層の市民が来場することが望ましいと考える。</p> <p>○芸術文化の発展を推進するためには、発表の場の提供が必要と考えている。長年補助制度の実務を経験している市文化協会による「市美術展」の開催は、市民の文化芸術の振興に大いに寄与している。</p> <p>○飛越交流展について、平成28年度は飛騨市美術館にて開催し、文化芸術面での交流を通じ、文化芸術活動への相互刺激や活性化を図ることができた。</p>	A

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 20)

飛騨市教育委員会・文化振興課

重点 施策	重点 目標	平成28年度の目標	担当課	平成28年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
図書館事業の推進	図書館の充実	<p>○神岡図書館蔵書拡充事業</p> <p>○図書館購入等事業</p> <p>・誰もが気軽に利用できる図書館を目指し、利用者ニーズにマッチした選書や質の高いレファレンス（調べもののお手伝い）サービスを提供するとともに利用者の掘り起しを目的とした各種イベントを開催することで更なる利用者数の向上を図る。</p>	生涯学習課（文化振興課）	<p>[H28決算額] 4,951千円 増書拡充：2,921冊</p> <p>・平成28年6月に神岡図書館のリニューアル移転に伴い、蔵書の新規購入及び蔵書数の拡充を行った。また、オープニングイベントを実施することで、主に神岡地区の住民に幅広く来場を促し、神岡図書館の機能が大幅に向上したことを認知することができた。 貸出者数が5,116名から8,445名へ増加（約1.6倍）した。（平成27・28年度の6月から8ヶ月間を比較）</p> <p>[H28決算額] 7,940千円</p> <p>・図書館利用者のニーズに合った図書選書や本のリクエスト購入に努め、魅力のある蔵書を揃えた図書館を目指した。 また、蔵書の更新に合わせ図書館利用者の掘り起こしを目的とした歴史講座やジャズ演奏等の新しい企画を実施し、イベント実施回数及び参加者は、延べ38回で約1,800名にのぼった。 蔵書等購入数：4,153冊</p>	<p>・図書館は全ての市民が共有の財産である資料や情報を利用することができ、豊かな暮らしと学習に役立つ資料や情報を有することが求められる施設であると考えられる。 市民が求める多様なニーズに応えるべく、魅力のある蔵書の図書構成に心掛け、文化情報の発信や個々に応じた学びや課題の解決を支援する図書館とするため、県図書館等で行われる研修に積極的に職員を受講させ、レファレンス対応時のスキルアップを目指す。</p>	A

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 21)

飛騨市教育委員会・文化振興課

重点 施策	重点 目標	平成28年度の目標	担当課	平成28年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
地域の歴史や文化財の保護と継承	伝統芸能と伝統文化の継承	<p>○ユネスコ無形文化遺産登録推進事業</p> <p>・「古川祭の起し太鼓・屋台行事」の登録に向けて高山・大垣・高岡・南砺市など県内外の自治体と連携を深め活動を推進した。</p> <p>登録の決定を機に単に古川祭に焦点を当てるばかりではなく、歴史学・民俗学・社会科学・建築学等の視点から、祭を中心とする住民の生活や文化・町づくりにおいて研究の土台づくりを行う。</p>	生涯学習課（文化振興課）	<p>[H28決算額] 2,946千円</p> <p>○「ユネスコ無形文化遺産登録記念イベント」の開催</p> <p>・飛騨市ユネスコ無形文化遺産登録記念事業実行委員会を組織し、登録記念イベントを実施した。</p> <p>期日：12月3日 場所：まつり広場 来場者数：約1,200名</p> <p>[H28決算額] 4,490千円</p> <p>○ユネスコ無形文化遺産登録記念「飛騨市山・鉾・屋台連合フェスティバル」の開催</p> <p>・ユネスコ無形文化遺産に同時登録された、高岡市、魚津市、南砺市、七尾市、大垣市、高山市の近隣6都市を飛騨市に招へいし、各保存会代表による意見交換会やそれぞれの「山・鉾・屋台行事」を披露するとともに、地場製品の展示や即売会等、観光PRを併せて行った。</p> <p>期日：2月18日 場所：文化交流センター 来場者数：約3,000名</p>	<p>・飛騨越能”山・鉾・屋台”連合フェスティバルを開催したことにより、これまで無かった無形文化遺産を核とした相互連携の構築や遺産の保存・継承などの情報交流の場となった。</p> <p>また、全国に向けた「古川祭の起し太鼓・屋台行事」の情報発信ができたことは、大きな収穫となった。</p> <p>・ユネスコ無形文化遺産登録を目指してきたこれまでの取り組みを踏まえ、今後も市民協働による無形文化遺産の継承を支援し、郷土に誇りや愛着を持つことができるよう文化財保護に取り組んでいきたい。</p>	A

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 22)

飛騨市教育委員会・文化振興課

重点 施策	重点 目標	平成28年度の目標	担当課	平成28年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
文化施設・文化交流施設の充実	美術館の運営	<p>○「君の名は。」企画展事業</p> <p>・映画「君の名は。」の大ヒットに伴い、飛騨市が映画に登場する一部風景のモデルとなったことから、同展覧会を本市に誘致し、更なる飛騨市の知名度の向上を図る。</p>	生涯学習課（文化振興課）	<p>〔H28決算額〕 7,408千円</p> <p>・本作品の制作にかかる貴重な資料（企画書や絵コンテ、作画レイアウト図等の制作資料約300点）を展示することで、来館者に映画の世界を余すことなく紹介した。</p> <p>・期間：平成29年1月7日～2月19日 場所：飛騨市美術館 入館者数：10,170名</p> <p>〔H28決算額〕 693千円</p> <p>・企画展の期間中、映画に登場した「組紐」を体験できるコーナーを隣接会場に設置するため、組紐文化が盛んな三重県伊賀市に出向き組紐の技法を習得し、全国から聖地巡礼に訪れた観光客に飛騨市ならではの「おもてなし」を行った。 組紐体験者：660名</p>	<p>・「君の名は。」の企画展示を実施するに当たり、来館者には展示物を観覧していただくだけではなく、映画の中に登場する「組紐シーン」を疑似体験できるコーナーを設けるなどの趣向を凝らしたところ、体験者からより、リアル感が得られたとの好評との声（意見）をいただいた。</p> <p>また、1万人を超えた入館者実績は、市美術館開館以来の新記録であり、飛騨市の知名度の向上と地域経済の好循環に寄与した。</p>	A